

坂さんぽ⑨

ろくわりざか 「六割坂」



飯島文常『米岳海崖絵巻』の一部から
柏崎市立図書館所蔵

青海川、米山大橋の近くにある北国街道米山三里の旧道で青海川駅へ下る鯨波側の急坂は六割坂と呼ばれ、上輪一上輪新田間の亀割坂に匹敵するほどの難所坂である。今も急斜面につづら折りの道が残っており、当時の北国街道の面影が最もよく見られるとされる。

この六割坂からは、日本一、海に近い駅といわれる信越本線「青海川駅」を見下ろすことができる。また、六割坂の下り口あたりからは右手に日本海、左手には米山大橋、そして天候が良ければ米山大橋の後方に霊峰米山を望むことができ絶景である。

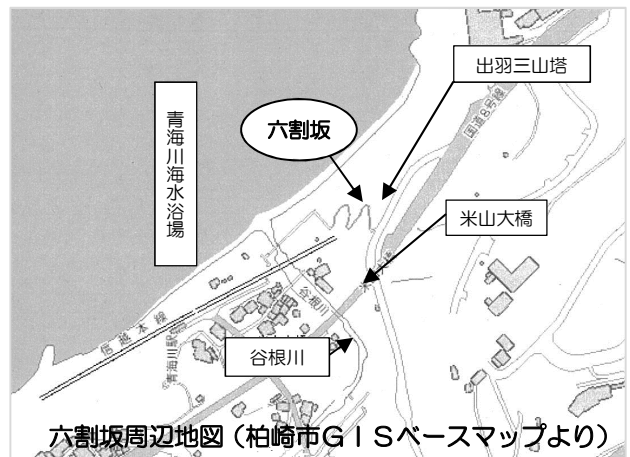
六割坂は、急勾配ながらも整備されていて、現在も地元住民の生活道路として使われている。地元の方による

と夏場は坂の周辺に草が生い茂ることから、今も地元の方達による道普請が行われているとのことである。坂を下った道の両側には旧信越本線で使っていた枕木が立ててあり、廃トンネルも見え、昔の懐かしい鉄道の名残がある。

また、六割坂の下り口近くには出羽三山塔がある。出羽三山塔は米山塔と同じく山岳信仰によるもので、出羽三山に参拝した人々が、その旅を記念して建てたものとされる。出羽三山とは、山形県のほぼ中央に位置する山岳地帯で、月山、湯殿山、羽黒山のことをいう。今では想像もできない苦勞をし、詣でた当時の人々にとって、その感動はいつまでも忘れられないものだったため、こうした塔を建てたのであろうとも言われている。六割坂には往時の北国街道を彷彿とさせる景色が今も残っている。



六割坂の下り口



六割坂周辺地図 (柏崎市GISベースマップより)

- 参考にした資料 『柏崎のいしぶみ 第1集』山田良平著 (224 ヤマ)
- 『柏崎・刈羽 第5号』柏崎刈羽郷土史研究会編 (224 Kカリ)
- 『描かれた《ふるさと》』柏崎ふるさと人物館編 (292 Kフル)
- 『米山地区お宝探訪ガイドマニュアル』総合企画部文化振興課・米山地区コミュニティ振興協議会編 (292 Kソウ)